

〔千葉大学病院市民公開講座〕

とても身近な病気「がん」の話

「知っておきたいがんの話」をテーマに今年も市民公開講座が開催されました。



講演の様子



宮崎病院長あいさつ

千葉大学病院ではホームページに「がん情報サイト」を設け、市民公開講座、がん患者向け勉強会、患者サロンなどの開催について、また患者相談支援センターについてお知らせしています。なお、今回の市民公開講座での講演内容も公開しています。

◎病院ホームページ
<http://www.ho.chiba-u.ac.jp/>
◎HP内「がん情報サイト」
<http://chiba-ho.umin.jp/>

「がん」は国民病ともいわれる身近な病気となりました。しかし、この病気を身近に感じている方はまだ多いとは言えず、千葉県のがん検診の受診率は30%程度にとどまっているのが実状です。

がん検診の重要性を わかりやすく解説

今年の特に「予防法」に注目し、科学的根拠に基づいた「がん」になりやすい因子について、また、肺がん・胃がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんなどの「がん検診」の必要性、早期診断・早期治療の有用性について詳しい解説がありました。

さらに、がんの治療法（手術・放射線・化学療法）について、最新の情報を含めて各専門家が解説を行い、その治療をもとに支える看護や療養生活のサポート

体制として、当院の「がん相談支援センター」の活動も紹介されました。また、特別講演として、さくさく坂通り診療所・大岩孝司先生より「病院から自宅での治療へ 在宅がん緩和治療の挑戦」というテーマで、ご自宅で療養される患者さんの痛みをとる治療や、細やかな在宅訪問診療の様子をお話しいただきました。

ご来場の方からは、「来てよかった」「特別講演に感銘を受けた」など高評価をいただき、一方、「個別の病気について講座を希望します」「受動喫煙の害について取り上げて欲しい」など、今後の市民公開講座に対する具体的なご意見もいただきました。次回以降の課題としていと思います。

千葉大学病院は、がんの診療に力をそそぐ、「地域がん診療連携拠点病院」として、これからも、多くの診療科を備えた総合力を生かし、さまざまなニーズにお応えできる質の高い医療を提供できるように努力していきます。

（臨床腫瘍部・助教 堺田恵美子）

がんはとても身近な病気

1月22日、千葉市民会館にて「がん」をテーマにした千葉大学病院市民公開講座が開催され、たくさんの市民の方々が来場されました。

今年で5回目となるこの市民公開講座では、「がん」について分かりやすく正確な情報をお伝えするために、毎年趣向を凝らしています。国民の2人に1人が一生のうちに「がん」となり、3人に1人が「がん」で亡くなる「時代」となり、今や「が

